

島根大学 総合理工学部 物理・マテリアル工学科 准教授 宮本光貴

理工系の学生にとって関数電卓は必須のアイテムです。スマートフォンやノートパソコンでも同様の機能はありますが、やはり手軽な操作性や携帯性の良さから欠かすことは出来ません。私の担当する演習科目や実験科目においても、受講生には必ず携帯させて、計算やデータ処理に用いるようにしています。

私自身は学部1年生の時に購入したカシオの関数電卓「fx-570s」を現在の研究活動においても未だに使用し続けています。（四半世紀付き合っていることになります！）この間、何度か新しい関数電卓を購入し、その進化に驚かされていましたが、やはり初めて手にした関数電卓の操作に慣れていたので、そのまま使い続けているといったのが実情です。ところが今回ご紹介いただきました「カラーグラフ関数電卓 fx-CG50-N」は、これまで私が手にしたいくつかの関数電卓とは比較にならないほど高機能で、いよいよ乗り換えを考えているところです。

この関数電卓の最大の特長は、カラーのグラフが描けることで、数式の直感的な理解が可能です。特に実験科目では、実験中にデータを入力・グラフ化できるので、実験内容の理解に役立つだけでなく、実験のミスにもその場で気が付くものと思います。

これから関数電卓の購入する学生の皆さんにとっては、決して安い買い物ではないかもしれませんが、今後末永く共にする1台目の関数電卓として、ぜひ検討されてみては如何でしょうか。

島根大学 総合理工学研究科（博士後期）総合理工学専攻 杉本 有隆

CASIO グラフ関数電卓 fx-CG50-N はこれまで使ってきたどの関数電卓よりも高機能でカラー液晶のため視認性もよいことが非常に気に入りました。特に本電卓では、python が搭載されているためプログラムを作成し、面倒な作業のような計算を機械的に処理できる点が非常に便利です。また本電卓は表計算・(3D)グラフ描画など出来ることが多くありますので、実験結果を直感的に理解することを手助けしてくれるところが良いと思います。

パソコンを持っていれば出来ることが多くある世の中ですが、パソコンが近くにない状況・パソコンを起動するのが面倒な時やちょっとした空き時間中に試すことが出来るのが関数電卓の利点だと思います。特に本電卓はそのニーズに応じてくれるものでした。

島根大学大学院 自然科学研究科 理工学専攻 原 一智

実験の際、複数の実験室を行き来することがあるため、可能な限り携帯品は減らしたいと考えています。しかしながら、毎回の実験においてコンピュータが必需品となっています。なぜなら、実験で得られたデータの解析は早いに越したことはなく、解析にはコンピュータが必要だからです。最新のノートPCはかなり軽量で、持ち運び易いのは確かですが、やはり、どうしてもかさばってしまいます。

この問題を解決してくれるのが、この機体です。実験で得られたデータからグラフを描くことができるため、PCを使用せずとも、速やかに解析ができます。さらに、それほどかさばらない上に、比較的軽量なので、ちょっとした計算を行うだけであっても、ストレスなく携帯することができます。

私のように、様々な実験機器を使うために、複数の実験室を往来する研究者にとって、大変心強い味方と言えるのではないのでしょうか。